

11月11日～12月12日  
電池月間



# でんち

社団法人 **電池工業会**

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8  
機械振興会館内

電話(03)3434-0261(代)

E-mail. bajapan@hi-ho.ne.jp

ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

振替口座 東京8-91022

発行人 木村侃丘

定価1部郵送による年決め2,400円

平成15年10月1日

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

## 平成15年度第3回一次電池部会開催



平成15年10月9日、機械振興会館において梶井部会長(日立マクセル<株>)を議長に、平成15年度第3回一次電池部会(出席者23名)が開催された。

冒頭に梶井部会長から挨拶があり、続いて7件の委員会報告、および2件の審議が行われた。

### 1. 梶井部会長挨拶

統計によると、今年度に入ってから一次電池の販売状況があまり良くない。また中国や韓国からの輸入も前年を下回っている。このような状況の中で、業界をどのようにして発展させていくかを考えて行動を起こす必要がある。工業会を中心とした情報交換と忌憚のない意見交換をして欲しい。

### 2. 委員会・事務局報告

#### 1) 広報委員会報告

電池の正しい使い方PR、手作り乾電池教室の開催、交通安全フェア開催、テレビパブおよび電池フェスタの企画など広報委員会の全体的な活動状況について報告があった。

#### 2) 技術委員会報告

JIS関連、IEC関連など総括的な活動報告があった。続いて補聴器を中心に使用されている空気ボタン電池が冬場、

炭酸ガス濃度の上昇や室内の乾燥など、使用環境が電池寿命に影響するため、使用上の注意を文書にまとめ、補聴器業界の機関紙や電池工業会のホームページなどを通じてPRして行くことが報告された。

#### 3) 循環技術委員会報告

使用済み乾電池の全体量、処理の流れ、などについて総括的に報告があった。

#### 4) 資材委員会報告

グリーン調達、在庫削減とリードタイム短縮、グローバル調達など本年度の活動状況について報告があった。

#### 5) その他

アルカリ乾電池のリユース防止のため、ラベル意匠変更の検討を行なって来た。今年中に一部の製品が変更される見通しとなっている。

### 3. 審議事項

1) ボタン電池の水銀使用量は過去5年間で半減しているが、今後の取り組みの方向を審議し決定された。

2) 角型9V電池の端子の間にコイン電池が挟まるとコイン電池が急激に充電或いは過放電され発火の原因となるため、対策と取り組み方法について審議が行なわれた。

# 2003自動車点検フェスティバルに出展



会場入口

平成15年9月27日、28日の2日間、横浜・赤レンガ倉庫イベント広場において2003自動車点検フェスティバルが開催され電池工業会も出展をした。

当工業会ブースでは、「日常点検で安心ドライブを!」をテーマにバッテリーの液面点検、取扱の注意事項、寿命末期の現象等、多数の一般消費者に日常点検の啓発PRを行った。

.....  
 推進は国土交通省、自動車点検整備推進協議会でダンディ坂野、テツandトモ、とっこハマ太郎等のショーやプロの点検PR隊によるデモ車両を使つての点検・整備のポイントをアドバイスするなどが催された。



会場入口



電池工業会ブース



オープニングセレモニー

# 第27回交通安全フェアに出展



ミニパレード

平成15年9月20日、21日の2日間、東京ドームシティ「プリズムホール」において第27回交通安全フェアが開催され電池工業会も出展をした。

当工業会ブースでは、「日常点検で安心ドライブを!」をテーマにバッテリーの液面点検、取扱の注意事項、寿命末期の現象等、多数の一般消費者に日常点検の啓発PRを行った。

主催は内閣府、首都交通対策協議会、交通安全フェア推進用議会で、白石美帆・ピストン西沢のスペシャルトーク、警視庁音楽隊演奏、ニッポン放送公開生放送等の多彩なプログラムが催された。



会場入口



電池工業会ブース



オープニングセレモニー

# 蓄電池設備整備資格者

## 講習修了考查合格者(宮城・愛知会場分)

電池工業会は、7月29・30日宮城県で、8月27・28日愛知県で開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考查に合格した者の氏名を発表した。

合格者(合格率)は、宮城69名(88.5%)愛知84名(84.9%)合格通知は直接本人に通知される。

### 宮城県

佐藤公男、庄子和宜、鶴丸彰紀、吉原 満、菅原元幸、廣田通夫、松崎孝司、菊池利幸、川越勝美、若宮弘行、田中伸幸、池田善文、鎌田浩志、山本靖志、初澤正義、野呂克則、平賀國博、村上 勉、村上智春、平 亮二、畠山真琴、小林弘之、伊藤正幸、沼倉幸二、高橋吉典、伊藤 誠、高橋 敦、成田洋一、武市誠司、田中 忠、奥村隆雄、葛西 亘、我妻 賢、滝澤克典、三浦 直、飯田秀男、笠巻信幸、山田大輔、小幡 勲、千葉一夫、北田 香、久保田敏男、佐藤典夫、佐藤孝志、原谷 勝、佐藤徹也、中野勝郎、宮崎 崇、千住 孝、新妻公一、高田 誠、棚木政則、秋山知章、吉田 彰、下館和夫、新野衛一、田中貴雄、小野清藏、後藤勝義、伊勢孝一、岡本昌之、坂田竹広、鈴木忠一、白田健一、甫本竜太、猪股鉄雄、鈴木孝信、伏見浩宗、吉川 光。

### 愛知県

田中保幸、山本達也、中川 清、大下泰彦、加藤秀文、桜井 学、佐野真基、則政和幸、竹嶋貴文、井上義治、丹下祐司、清水 充、増田 悟、佐野雅人、岩田浩希、仲野雅也、上村修一、太田 茂、小澤睦司、元町 弘、澤本紀夫、岡本英樹、近藤孝弘、酒井英巳、浅野勝慶、三輪利生、森本一生、有村友一朗、倉田真由美、山田純也、梅原孝文、川邊嘉慶、安江雅明、今川敏昭、唐澤幸茂、辻 康弥、藤井壮人、杉山一政、村嶋泰秀、河合宣弘、谷内寛之、中野晴久、犬塚康雄、中田武彦、豊田雄一、野呂宗男、伊藤正人、垂水 勝、杉浦慈孝、立野克巳、山根幸生、尾山健治、小屋口陽二、堀井晃司、山崎 忠、杉山英樹、亀田正博、鈴木靖弘、金森健悟、伊藤克典、上坂利明、中村修康、渡邊 聡、塩入和佳、小澤 弘、茂道高広、義崎 健、山口俊幸、近藤正雄、吉田和則、長屋友之、奥井芳剛、谷 剛治、木村 稔、藤井幹太、野崎 淳、野村慶一、岩本将之、永倉健次、山中稔男、角川竜一、細川洋行、松澤幸広、殿林正博。

# 業界動向

## 【電池・燃料電池・太陽電池】

**\*東京ガス** 燃料電池を用いた家庭用コージェネレーション設備を、荏原グループ、松下電器産業とそれぞれ共同で開発する事を発表した。  
(8月1日付 日経&日経産業)

**\*パナソニックEVエナジー** HEV用に従来比25%軽量化した新型蓄電池(NI-MH)を開発した。燃費改善等の効果が期待できる。  
(8月8日付 日経産業)

**\*NECTーキーン** リチウムイオン電池の中国生産比率を、今年上期中に80%弱にまで高める。江蘇省に第二拠点が今年12月には完成へ。  
(8月11日付 化学工業日報)

**\*三洋電機** 小型FCを開発、2005年までに製品化しパソコン、携帯電話メーカーに売り込む。NEC、東芝もパソコン電源として製品化を計画中。FC携帯機器のすそ野が広がりそう。  
(8月12日付 日経)

**\*YUASA** 仏ルノーに自動車用バッテリーの供給を始めた。金額は年10億円程度。  
(8月14日付 日経)

**\*経済産業省** 電力貯蔵用電池の普及を後押しする方針を明らかにした。関東圏での電力不足の危機に直面した事態の再発防止を図るのが狙い。  
(8月15日付 電波)

**\*東京電力** NAS電池システムを変電所に本格導入、送電コストを抑制する。2004年3月までに二箇所に設置へ。  
(8月15日付 日経産業)

**\*日立マクセル** リチウムイオン電池事業を強化する。1年以内に主力の携帯電話用電池を25%増産、グループ全体での月産能力を700万個へ。  
(8月19日付 日経)

**\*三洋電機&トミー** PTC素子搭載で発熱や液漏れを防止、高い安全性を確保した玩具用電池を共同開発した。  
(8月22日付 日経、日経産業、電波、日刊工業&化学工業日報)

**\*エルディップ・エンジニアリング研究所(米)** 42ボルトの自動車用バッテリー部品に利用できる耐熱性樹脂について調査した。PPSなど7種類が有望。  
(8月28日付 化学工業日報)

**\*新日本製鉄** 据え置き型のFC事業に参入する。出力10キロワット級の小型設備でFCは固体酸化物型(SOFC)。2005年春には発売へ。  
(8月29日付 日経)

**\*日立製作所** 家庭用1キロワットの固体高分子型FC(PEFC)の初号機を10月に完成させ、新エネルギー財団が実証へ。  
(8月29日付 日刊工業)

## 【商品・材料・技術】

**\*ペンシルベニア州立大学** 特殊材料で作られたカーボンナノチューブが高感度で水素を検出できる事を発見、水素タンク等からの微量の水素の漏れを検出するのに利用できる。  
(8月6日付 日経産業)

**\*旭化成** リチウムイオン電池の需要拡大に対処、20億円弱を投資、セパレーターを増産する。  
(8月7日付 日経&化学工業日報)

**\*指月電機** 三社電機製作所と共同でバッテリーが不要で大容量の瞬時電圧低下保証装置を開発した。鉛電池(UPS)に代わり電気二重層コンデンサーを採用した物で2004年度を目処に商品化。  
(8月7日付 日刊工業)

**\*日立H&L** インターネット対応型の家電製品を来春までに発売する事を発表した。東芝、松下電器産業も参入を計画で開拓競争が本格化する。  
(8月8日付 日経)

**\*福田金属箔工業** 東北大学金属材料研究所と共同でFC向けの水素分離膜を開発。2004年春から自動車メーカー向けにサンプル出荷を開始。  
(8月8日付 日経)

**\*三洋電機** 地上デジタルTV放送に対応した携帯電話を開発、試作機のデモを行った。  
(8月9日付 電波)

**\*日本原子力研究所** 高熱(400℃)を使い水素を連続製造する基礎試験を今月末から開始する。これが完成すると製鉄所、化学工場の排熱程度で水素の製造が可能となる。2015年ごろに実用化を目指す。  
(8月13日付 日経)

**\*東芝電池** 生活悪臭に使える消臭剤・消臭剤の新商品(ミストタイプ)を今月から発売する。  
(8月17日付 電波)

**\*ノキア** ゲーム機能付き携帯電話を10月7日から発売する。現在欧州各地で販促活動を展開中。  
(8月18日付 日経)

**\*クアンタム・テクノロジーズ(米・GM系のFC車関連製品メーカー)** 2005年にも日本に進出、FC車の基幹部の一つである車載用水素貯蔵タンクの工場を建設しアジア向けの供給拠点にする。  
(8月18日付 日経タ刊)

**\*GM** FC車等駆動力に電気を用いる自動車向けに、エネルギーの転換ロス改善、馬力をガソリン車並みに高める新技術を開発した。  
(8月18日付 日経タ刊)

**\*東北大学金属材料研究所** FC等に使う新タイプの水素貯蔵材料を開発した。従来に比較して、水素の放出温度は200℃程度と80℃低くなっている。  
(8月15日付 日経産業)

**\*富士写真フイルム** レンズ付フイルムの回収率が最近60%程度に低下「以前は70%程度で推移」している事を公表した。  
(8月20日付 化学工業日報)

**\*BYD** 自動車の生産に乗り出す。当初は一般の自動車の製造を行い、将来はEVの製販を手掛ける計画。  
(8月25日付 日経産業)

**\*電源開発** 大規模風力発電所の送配電網への影響を軽減するための技術開発に乗り出す。内容は電力の不安定さを蓄電池からの放電で相殺する制御技術。  
(8月28日付 日経産業)

**\*東京ガス&三菱重工業** 都市ガスから高効率で水素を取り出す技術を開発した。特殊薄膜で水素を分離回収する事で、抽出効率は従来法より10ポイント向上。  
(8月29日付 日経)

**\*【財】石油産業活性化センター** 石油業界が製造する水素でFC車向け需要は当面賅え、水素供給の主力は鉄鋼より石油業界である旨の報告書を纏めた。  
(8月29日付 日経タ刊)

**\*日本HP&日本IBM** パソコンの国内生産に重点を置く。変化の激しい消費者ニーズをいち早くくみ上げ、在庫を抱えず適時、品質の高い製品を供給出来る体制を構築へ。  
(8月29日付 日刊工業)

## 【環境】

**\*カシオ計算機** EUで2006年施行の有害物質使用規制に対応、2004年度中に全ての新製品から鉛を含むはんだを全廃する。  
(8月17日付 日経)

**\*アーステクニカ(東京)** 重金属に汚染された土壌を水熱反応で無害化する汚染土壌無害化設備を開発、発売をした。  
(8月20日付 日刊工業)

**\*厚生労働省** 2004年度から2005年度にかけ全国約15,000人の食行動を分析、重金属の摂取量を調査へ。対象金属は水銀、ヒ素、カドミウム、錳。  
(8月20日付 日経タ刊)

**\*経済産業省、厚生労働省&環境省** 化学法の改正施工に必要な省令の改正案を取り纏めた。改正案では新規化学物質に係る試験項目・方法などの改正と、生態毒性に係る試験を実施する試験施設に関する基準と運用について定めている。  
(8月22日付 化学工業日報)

**\*電子情報技術産業協会** 電機メーカーが独自でサプライヤーに対し実施している調達部品の化学物質調査の基準を共通化した事を発表した。  
(8月26日付 日刊工業、電波&化学工業日報)

**\*APEC加盟国・地域** 欧州委員会が提案している化学品規制案(REACH)に対する懸念を改めて表明した。  
(8月26日付 化学工業日報)

**\*電子通信事業者協会** 携帯・PHSの2002年度の回収台数は前年度比13%減の1,136万台で、回収率は前年度比6ポイント減の約29%になった。落ち込みの原因は、解約後もカメラ等に利用する例が増えたため。  
(8月27日付 日経)

## 【予測・統計】

**\*カメラ映像機器工業会(CIPA)** 今年1月~6月期のデジタルカメラの世界出荷台数が前年同期比85%増の1,683万台になった。なお国内出荷は40%増の378万台。  
(8月2日付 日経)

**\*IDC(米)** 今年4月~6月の世界の携帯電話出荷台数が前年同期比19.2%増の11,800万台になった。カメラ付携帯電話が需要を牽引。  
(8月2日付 電波)

**\*太陽電池&PDA市場** 環境保全に対する意識の高まり等で市場は急拡大、2002年の国内生産量は257メガワット(メガ=百万)で、前年比48.2%伸びた。又PDA(国内)は、前年比21%減の約68万台で、ノートPC等の情報機器に押しされ落ち込んだ。  
(8月5日付 日経産業)

**\*リチウムイオン電池** 2002年度の国内販売量は、前年度比20.9%増の18,020億個になった。  
(8月12日付 日経)

**\*電子情報技術産業協会(JEITA)** 6月の携帯電話の国内出荷台数が前年同月比19.6%増の474万台強になり2001年4月以来最大になった。  
(8月13日付 日経)

**\*カメラ映像機器工業会(CIPA)** 今年1月~6月のフィルムカメラの国内出荷は前年同期比43%減の63.8万台、金額も同42%減の約89億円に留まった。  
(8月14日付 日経産業)

**\*ARCグループ(英)** 世界のカメラ付携帯電話の保有者が今年末で5,500万人を超えるとする調査報告を発表した。尚2002年末時点の所有者数は2,500万人。  
(8月25日付 電波)

**\*マルチメディア総合研究所** 4月~6月の国内パソコン出荷総数が、2,775千台となり前年同期比2.8%増加した。  
(8月25日付 日経産業)

**\*ライブ(東京)** 家庭用パソコンで購入後の保有年数を調査、購入後3年以上は4割である事を確認した。3年が買い換えサイクルとなりそう、買い替え需要が販売の下支えになりそう。  
(8月26日付 日経)

**\*中国デジカメ市場** 現地大手の方正科術電脳系統は主力製品を24%、2位の連想集団は39%各々値下げ、デジカメの値下げ競争が始まった。  
(8月29日付 日経産業)

**\*日本能率協会総合研究所** デジタル映像機器の購入実態調査を纏めた。デジカメを購入する際、最も重視するのは「使いやすさ」、次いで「画素数」。  
(8月29日付 日経産業)

**\*台湾ノートPC** 台湾企業製のノートPCの出荷が急拡大し、世界シェアは今年60%を超える見通し。薄利覚悟のシェア争いが激化へ。  
(8月29日付 日刊工業)

## 【その他】

**\*国民生活センター** 企業が製品ミスを新聞社告などで告知、回収すると「企業やブランドに対する信頼が落ちて高まる」との考えをする消費者が約5割になった事が、センターのアンケート調査で判った。  
(8月8日付 日経)

# 平成15年9月度の電池工業会活動概要

部会	9月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議	3～6日	NEW環境展「大阪」出展	電池の正しい使い方と廃棄を中心に啓蒙活動を行った
	12日(金)	正賛合同会議	2003年度BAJ事業概要及び講演
	18日(木)	広報二次電池WG	各種活動の進捗確認
	18日(木)	広報委員会	でんちフェスタ、バッテリー賞の進行状況の確認と各社分担の決定
	19日(金)	蓄電池設備整備資格者講習実施委員会	宮城県、愛知県講習の修了審査可否判定
	20～21日	交通安全フェア	バッテリー日常点検で安心ドライブをテーマに啓発PR
	27～28日	自動車点検フェスティバル	バッテリー日常点検で安心ドライブをテーマに啓発PR
二次電池部会	2日(火)	(自)市販小委員会	新リサイクルスキーム広報について
	3日(水)	(自)リサイクル特別委員会	自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム審議
	4日(木)	(自)リサイクル特別委員会	自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム審議
	8日(月)	資材委員会	再生鉛の利用について
	9日(火)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局会議	産業用電池新リサイクルスキーム審議
	10日(水)	産業電池技術サービス分科会	電源装置の寿命更新に関するパンフレット作成検討、他
	10日(水)	(自)市販小委員会	新リサイクルスキーム広報について
	10日(水)	(自)リサイクル特別委員会	自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム審議
	10日(水)	自動車鉛分科会	JIS(D 5301)改正案の構成及び内容。技術委員会指摘事項
	11日(木)	(自)リサイクル特別委員会	自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム審議
	12日(金)	(自)需要予測小委員会	7,8月度実績の確認
	12日(金)	HEV用電池分科会	JARI規格(HEV用Ni-H電池の寿命試験方法)制定原案の内容
	17日(水)	充電器分科会	SW電源装置の規格化検討、技術資料作成検討
	17日(水)	二次電池部会(鉛5社)	自動車電池・産業用電池新リサイクルスキーム審議
	17日(水)	据置鉛分科会	JIS(C 8704-1ベント形)改正案の対比表。技術委員会指摘事項
	18日(木)	(自)市販小委員会	新リサイクルスキーム広報について
	18日(木)	(自)リサイクル特別委員会	自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム審議
	19日(金)	(自)リサイクル特別委員会	自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム審議
	19日(金)	資材小委員会	共用金型、共通部品の検討
	19日(金)	(自)技術サービス小委員会	自動車用バッテリーの総合診断パンフレットの内容
24日(水)	(自)リサイクル特別委員会	自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム審議	
24日(水)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局・分科会合同	産業用電池新リサイクルスキーム審議	
26日(金)	資材委員会	再生鉛の利用について	
26日(金)	EV鉛分科会	JARI規格(EV用制御弁式鉛電池の試験方法)改正原案の内容	
26日(金)	二次電池PL委員会	自工会への要請事項の検討	
小形二次電池部会	1日(月)	再資源化委員会アルカリ分科会	回収量アップにむけた廃棄ルートの確認調査方法の検討
	1日(月)	IEEE対応WG	ダブルフォルト論理構築,ドラフト3.0審議
	4日(金)	小形二次電池部会	各委員会の活動内容報告、再資源化積立金及び設備償却の件審議
	5日(金)	国連対応WG幹事会	2007年国連勧告改訂に関する米国との共同提案について検討
	11日(木)	海外環境委員会	世界の電池規制冊子に関し、改訂原案の検討
	12日(金)	IEEE対応WG	IEEE米国会議向け審議文書の審議
	17日(水)	PL委員会	製品安全に関する社会的啓蒙の取り組みと今後の計画を確認
	17日(水)	リチウム2次分科会	JIS原案(C 8711改正,小形二次電池の安全性制定)作成審議
	18日(木)	国連対応委員会	PRBAとの共同取り組みや日本IATA代表や政府への対応を検討
	19日(金)	新種電池研究会	活動内容・情報等の意見交換、リチウムマンガン系の再資源化検討
	19日(金)	ニカド・ニッケル水素分科会	JIS原案(C 8705改正,小形二次電池の機械的試験制定)作成審議
	25日(木)	再資源化委員会	回収量アップの取組審議、消防・救急用機器調査
26日(金)	業務委員会	8月度販売状況の検討及び統計資料に関する課題の整理等の審議	
一次電池部会	3日(水)	一次電池技術委員会	各小委員会審議状況の承認、一次電池課題の審議
	12日(金)	一次電池PL委員会	ラベル表示文言の標準化と事故事例の解析等
	24日(水)	一次電池業務委員会	ボタン電池回収に対する安全策の立案、海外乾電池の購入調査
	25日(木)	JIS小委員会	JIS「一次電池通則」改正審議,H16年度以降のJIS体系審議
	25日(木)	IEC小委員会	IEC/TC35関連審議(LR6デジタル用試験,時計用電池メンテナンスなど)
	26日(金)	一次電池課題検討連絡会	リユース、及び輸送時の安全性確保の為の対応策の検討

## ●●●●● 新製品ニュース ●●●●●

デジタル機器のヘビーユーザーに朗報!

**業界最速<sup>※1</sup>の超急速30分充電器を新発売!**

世界最高レベル<sup>※2</sup>の高容量単3形ニッケル水素電池

「Ni-MH 2300」4本を約30分で充電可能

三洋電機株式会社(以下三洋電機)は、世界最高レベルの高容量単3形ニッケル水素電池「Ni-MH 2300シリーズ」(Typ.2300mAh<sup>※3</sup>, Min.2150mAh<sup>※4</sup>)に対応した業界最速の超急速30分充電器を11月21日より新発売します。



単3・単4形対応急速充電器セット N-M70S

### — 特長 —

1. 業界最速の30分充電を達成

世界最高レベルの高容量単3形ニッケル水素電池「Ni-MH 2300シリーズ」(Typ.2300mAh, Min.2150mAh) 4本を約30分で充電可能。

2. 「15分お急ぎモード」をプラス

急いで使用したい方の為の「15分お急ぎモード」をプラスしました。

3. 新方式パルス段別充電の定温度制御を採用

充電時間を大幅に短縮する為に、当社独自の個別定温度充電制御方式を採用しました。

(特許申請中)

※1 市販用単3形ニッケル水素電池 (typ.2300mAh)対応の充電器の充電時間において 2003年9月19日現在 当社調査結果

※2 市販用単3形ニッケル水素電池において 2003年9月19日現在当社調査結果

※3 JIS C8708 1997(4.2.1)の充放電条件に基づく、電池の実力容量

※4 JIS C8708 1997(4.2.1)の充放電条件に基づく、電池の実力容量

## 7月度電池および器具販売実績（機械統計）

（平成15年7月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円（本年よりマンガン乾電池の単二がその他に含まれました）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
電池・器具総合計	508,339	57,024	89%	94%	3,440,531	391,590	98%	101%
全電池合計	507,363	55,747	89%	94%	3,434,273	382,198	98%	101%
一次電池計	378,840	12,395	89%	80%	2,523,529	83,130	99%	92%
マンガン乾電池計	78,078	1,458	81%	72%	522,858	9,668	84%	78%
単一	8,175	392	71%	64%	57,260	2,729	86%	79%
単三	37,988	542	80%	75%	263,700	3,697	80%	76%
その他	31,915	524	85%	77%	201,898	3,242	88%	79%
アルカリ乾電池計	110,407	5,746	86%	81%	750,829	37,790	104%	97%
単三	71,385	3,198	91%	91%	486,005	21,032	107%	100%
単四	23,300	1,127	80%	81%	152,229	7,065	99%	94%
その他	15,722	1,421	78%	65%	112,595	9,693	101%	93%
酸化銀電池	87,856	920	100%	97%	585,217	6,356	105%	102%
リチウム電池	95,696	3,983	90%	78%	625,476	27,619	103%	90%
その他の乾電池	6,803	288	100%	89%	39,149	1,697	91%	84%
二次電池計	128,523	43,352	91%	99%	910,744	299,068	97%	104%
鉛電池計	3,392	10,331	95%	90%	22,011	72,355	95%	95%
自動車用	2,215	6,366	99%	89%	13,187	39,378	102%	95%
二輪用	333	712	87%	95%	2,564	5,231	95%	101%
小形シール	639	799	84%	92%	4,818	5,589	80%	91%
その他	205	2,454	99%	90%	1,442	22,157	93%	95%
アルカリ電池計	62,873	7,918	69%	72%	470,369	57,476	76%	78%
完全密閉式	30,837	3,506	64%	62%	240,407	27,084	82%	81%
ニッケル水素	32,022	4,179	75%	85%	229,708	28,662	71%	76%
その他のアルカリ電池	14	233	48%	70%	254	1,730	134%	68%
リチウムイオン電池	62,258	25,103	131%	117%	418,364	169,237	141%	124%
器具計	976	1,277	94%	90%	6,258	9,392	100%	93%
携帯電灯	616	451	104%	77%	3,467	2,944	104%	87%
電池器具	360	826	81%	100%	2,791	6,448	96%	95%

## 7月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（平成15年7月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	278,847	29,256	94%	103%	1,844,700	198,791	97%	102%
一次電池計	173,033	3,039	97%	71%	1,091,990	21,558	100%	92%
マンガン	50,312	427	81%	43%	306,479	2,582	86%	76%
アルカリ	20,592	379	101%	83%	148,645	2,912	142%	141%
酸化銀	41,501	460	154%	137%	222,828	2,715	96%	96%
リチウム	56,876	1,702	85%	70%	398,613	12,928	105%	88%
空気亜鉛	1,463	26	77%	72%	11,347	204	79%	69%
その他の一次	2,290	45	1143%	315%	4,078	217	220%	122%
二次電池計	105,813	26,217	90%	108%	752,709	177,233	93%	103%
鉛蓄電池	278	686	78%	107%	2,086	4,573	74%	92%
ニカド	26,403	2,358	66%	67%	198,735	17,776	81%	79%
ニッケル鉄	1	2	-	-	16	9	32%	56%
ニッケル水素	19,921	2,188	61%	65%	164,575	17,115	67%	70%
リチウムイオン	46,858	17,389	134%	115%	312,444	117,015	128%	110%
その他の二次	12,352	3,594	127%	231%	74,853	20,745	101%	150%
全電池合計（輸 入）	52,886	5,272	121%	137%	393,666	31,908	134%	122%
一次電池計	47,858	1,700	119%	128%	365,994	10,792	134%	118%
マンガン	9,748	110	118%	101%	85,356	1,040	139%	118%
アルカリ	34,328	637	118%	122%	250,559	4,632	133%	118%
酸化銀	67	2	53%	81%	729	17	30%	34%
リチウム	1,613	268	112%	450%	8,861	1,082	78%	124%
空気亜鉛	702	19	241%	172%	3,608	104	165%	114%
その他の一次	1,400	664	139%	106%	16,881	3,917	206%	118%
二次電池計	5,028	3,572	140%	142%	27,672	21,116	131%	124%
鉛蓄電池	709	1,541	134%	126%	3,797	9,810	114%	113%
ニカド	1,694	377	164%	95%	10,966	2,429	129%	87%
ニッケル鉄	25	41	-	-	91	169	2746%	2511%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の二次	2,600	1,613	128%	179%	12,818	8,708	137%	156%